

# 平成23年度業務改善表彰

## －施設横断的な分析機器 Web 予約システムの構築－

○上田誠<sup>A)</sup>，山室賢輝<sup>B)</sup>

<sup>A)</sup>環境建設技術系

<sup>B)</sup>生産構造技術系

### 1 はじめに

平成22年度より実施されている「業務改善表彰」は、管理運営面で顕著な改善につながる提案や取り組みを行った職員や、日常の業務を通じて本学に多大な貢献があった職員を讃え、効率的な運営をより一層推進することを目的としたものである。今回は技術部より表題の業務で受賞したので、ここに報告する。

### 2 改善へ取り組むまでの課題

工学部技術部は教育研究、安全管理及び社会貢献を業務の3主要軸に掲げ、教育研究を円滑に推進するために、様々な施設の分析機器の管理運営業務を担当している。特に利用者が技術習得した装置については単独使用を許可し、Web等で機器の利用スケジュールを管理している。しかしながら施設ごとに個別のWeb予約システムが存在したり、また予約システム自体がない施設も存在したり、ユーザーの観点からは必ずしも利便性の高いものとは言えない状況にあった。

### 3 取組内容

本業務を円滑に推進させるためには、分析機器の予約システムをWebにより一元管理することが重要と考え、本システムを構築することを計画した。システムに登録を希望した施設は、イノベーション推進機構（地域共同ラボラトリー、ベンチャービジネスラボラトリー）、黒髪地区アイソトープ施設、工学研究機器センターの3施設である。またシステムから機器利用ログを抽出する機能を備えることで、年間の機器使用料金の算出に係る事務作業の軽減を図った。主な改善点を以下に示す。

1. 3施設の機器の予約が1つのWebサイトで可能。
2. 機器操作に関わる電子マニュアルがダウンロード可能。
3. 講習を受け単独利用が許可された利用者は、容易に分析作業に着手できる。  
※一部、管理者の指導が必要な機器があり、システム上は予約状況のみ確認できる。
4. 利用料金の計算もユーザーが所属する研究室単位で処理可能となり、大幅な事務作業量の簡素化と迅速化が図られた。
5. CSVファイルによるユーザーの一括更新が可能となり、大幅な事務作業量の迅速化が図られた。

### 4 まとめ

本件の取り組みは本年度も継続的に実施し、ユーザーの利便性を常に配慮しながらシステム改善に努めている。最後に本システムの構築に際し、初期データの入力や改善提案で協力いただいた機器分析・化学WGならびに黒髪RIセンター職員各位に感謝の意を表す。